

～第228回臨時議員総会にて新役員決定～

新会頭に大林市郎氏を選任

副会頭に、岩月氏、太田氏の2氏を新たに選任

11月1日(火)、新役員を決める第228回臨時議員総会を本所大ホールで開催し、正副会頭をはじめ、専務理事、常議員46名、監事3名がそれぞれ選任され、新体制がスタートしました。



会 頭 大林市郎
(岡崎信用金庫 会長)

このたび、岡崎商工会議所の第25代会頭に就任いたしました。会頭職を務めるその責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

今回選任されました4人の副会頭とともに、役員議員・会員皆様のご協力をいただき「地域経済を支える会員事業所の期待に応える組織」を目指して、役職員一丸となり事業に取り組んでまいります。

現在は先が見通せない厳しい時期であり、事業継続するためには何が必要かを考え、常に“挑戦し続ける”意識を持つことが肝要で、企業の発展と地域の活性化に向けて商工会議所事業を進めてまいります。そのためには、皆様の声を真摯に受けとめ、環境変化に対応するための支援に力をいれてまいります。

さて、日本経済が抱える課題として、産業空洞化や大都市の過密・地方の過疎、少ない起業件数、労働力の減少などが挙げられますが、これらの課題は当地域にもその影響を及ぼしていると考えます。そのうえで岡崎の商工業の伸展には、「外の活力を巻き

込むこと」が必要です。市内外の活力を取り込みながら、高い生産性を実現し、雇用創出拠点を増やすことが重要で、企業誘致も大きな活力に繋がります。今後も、行政・関係機関との連携のもと企業が市外に流出しない、市内に誘致しやすい環境整備を力強く進めていかなければなりません。一方、健全な財政基盤を持ち、活力ある産業のもと発展する魅力あるまちづくりとともに、生産者・商業者・消費者の全ての人が幸せを感じるまちづくりにも取り組んでまいります。また、観光客も長期滞在できるよう、新たな観光需要の掘り起こしと近隣市域の知恵と魅力を共有・発信する広域連携事業にも引き続き力を入れてまいります。

具体的な事業計画はこれから立案してまいります。経営資源でありますヒト・モノ・カネ・情報が他地域から集まる仕組みづくりを強く意識し、古澤前会頭が掲げられた「次世代につなぐ。」想いを受け継ぎ、今後とも地域社会から広く厚く信頼が寄せられ、末永く社会に貢献する地域総合経済団体としての使命を達成するため、一層精進してまいります。

どうか、商工会議所の諸事業活動に対し、ご理解あるご支援とご協力をお願い申し上げます。

《副会頭》 4名



服 部 良 男
服部工業(株)
代表取締役
(再任)



小 原 睦
小原建設(株)
取締役社長
(再任)



岩 月 幹 雄
フタバ産業(株)
取締役専務執行役員
(新任)



太 田 健 介
太田油脂(株)
代表取締役社長
(新任)



山 中 賢 一
岡崎商工会議所
(新任)

(敬称略)

《専務理事》